保護者・地域の皆様へ

【中学校版】令和８年度全国学力・学習状況調査の結果

令和８年 10 月
菰野町教育委員会

令和８年４月 23 日（中学校英語は別日）に、中学校３年生を対象に実施された全国学力・学習状況調査の結果の概要をまとめました。

結果の公表については、保護者・地域の皆様に学校教育と家庭教育についてのご理解とご協力を得ることが何よりも大切であると考え、教科に関する結果、学力の背景となっている生徒質問調査からみられた本町の生徒の好ましい傾向と教育課題、そして今後の取り組みについてお示しさせていただきます。



教科に関する調査結果

今年度の教科に関する調査は、国語、数学、英語の３教科で実施されました。
本町では、国語、数学、英語それぞれにおいて、全国、三重県の平均正答率を下回る結果となりました。※共立中学校の結果

※中学校英語は IRT スコアの結果

・IRT　児童生徒の正答・誤答が、問題によるのか学力によるのかを区別して分析し、児童生徒の学力スコアを推定する統計理論。
・IRT スコア　IRT に基づいて、各設問の正誤パターンの状況から学力を推定し、500 を基準にした得点で表すもの。

		国語	数学	英語（４技能）
中学校	本町	61	53	490
	三重県	62	56	492
	全国	63.9	57	499

生徒質問調査結果からわかること

菰野町の子どもたちのよいところ

普段の生活の中で幸せな気持ちになることがよくある 93.2%（全国 91.0%）	人の役に立つ人間になりたいと思う 97.4%（全国 95.9%）	先生は自分の良いところを認めてくれている 91.7%（全国 90.9%）	自分には良いところがあると思う 87.1%（全国 84.0%）
人が困っているときは進んで助けている 92.0%（全国 90.8%）	学校に行くのは楽しい 86.0%（全国 85.4%）	いじめはどんな理由であってもいけないことだと思う 96.3%（全国 95.1%）	将来の夢や目標を持っている 73.2%（全国 67.6%）

※子どもたちが生徒質問調査で肯定的に回答した割合が全国より高かった設問より

菰野町では、教育活動全体を通じて、子どもたち一人ひとりのよさを認め、考えや思いを受け止めることで、自己肯定感を育むとともに、互いに認め合い、支え合える人間関係づくりや、安心して学べる環境づくりに取り組んできました。

今回の調査で、子どもたちのよいところが多く見られたことは、学校での取組だけでなく、家庭や地域における温かい声かけや励まし、ご支援が、子どもたちの安心感や自信につながっていることの表れであると考えております。

今後も学校は家庭や地域と連携し、子どもたちが将来の夢や目標の実現に向けて、自らの可能性を伸ばしていけるよう努めてまいります。

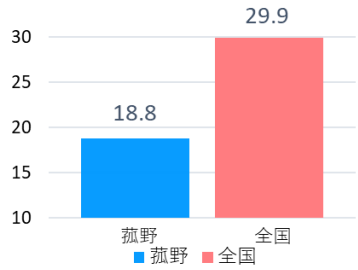


生徒質問調査からみられた課題と改善に向けて

Q　休日はどのくらい勉強をしますか。平日にどのくらい SNS や動画視聴をしますか。

休日の家庭学習時間が短い

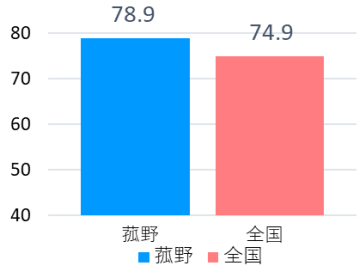
休日に２時間以上勉強をすると回答した生徒の割合





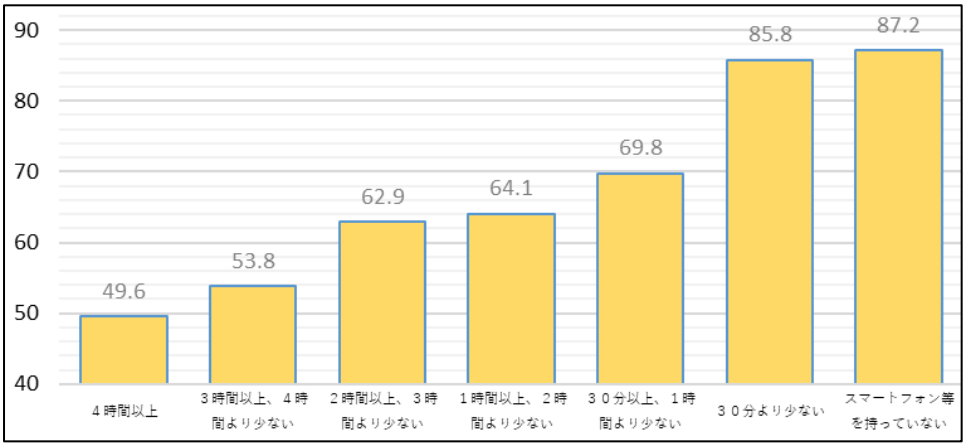
SNS や動画視聴時間が長い

平日に２時間以上 SNS や動画視聴をすると回答した生徒の割合





「SNS や動画視聴」の質問と 2 教科の平均正答率の関係





「休日に２時間以上勉強する」と回答した生徒の割合は、全国と比べて低い傾向にあります。また、「平日に２時間以上 SNS や動画視聴など（スマートフォン等を使って学習する時間やゲームをする時間は除く）をする」と回答した生徒の割合は全国より高い結果となりました。

また、**SNS や動画視聴をする時間が少ない生徒ほど、教科の平均正答率が高くなる傾向**が見られます。

家庭で学習する習慣を身につけさせましょう

子どもたちが学校で学んだ知識や技能をしっかりと自分のものにし、将来に向けて学び続ける力を育むためには、日々の「家庭での学習習慣」を身につけることがとても大切です。日常的に予習や復習、反復学習に取り組むことが、基礎・基本の確実な定着へとつながります。

菰野町では、一人ひとりの学びを支えるため以下の取り組みを行ってまいります。



【菰野町の主な取り組み】

〇「家庭学習の手引き」の配付と活用

日頃の学習や生活リズムを振り返る指針として活用できます。

〇一人一台端末（デジタルドリル）の活用

自分のペースに合わせて前学年の復習を行ったり、発展的な先取り学習に取り組んだりすることができます。学校でも家庭学習の課題として今後さらに積極的に活用してまいります。

【保護者・地域の皆様へのお願い】



〇温かい励ましと環境づくり

集中できる環境を整え、頑張りを認める声かけをお願いします。

〇望ましい生活習慣の見守り

ゲームや SNS、動画などの長時間利用を防ぐルール作りをお願いします。

教科に関する調査結果と改善に向けて



【中学校　国語】

≪平均正答率が高かった問題≫

◇ 情報と情報との関係の様々な表し方を理解し使うことができるかどうかをみる問題。

正答率:約 70%

・話し合いを受けて整理したタブレット端末の画面を説明したものとして適切なものを選択することができます。

≪平均正答率が低かった問題≫

◆ 文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かものにすることができるかどうかをみる問題。

正答率：約 35%

・「例文１」と「例文２」を比べて、擬態語にはどのような効果があると考えるか、条件に従って書くことに課題がみられます。

≪今後の学習の手立て～今後の授業では～≫

◇ 具体的な場面を思い浮かべつつ、学習過程を通して理解したことと結び付けるなどして、改めて自分が文章をどのように捉えて精査し、解釈したのかを振り返らせる活動を設定します。

◇ 文章に書かれている大まかな内容について自分の考えを述べることにとどまるのではなく、自分がその文章の内容についてどのように把握したり解釈したりしたかを踏まえ、考えをまとめさせます。



【中学校　数学】

≪平均正答率が高かった問題≫

◇ 具体的な場面において、正の数と負の数の数を用いて変化や状況を表すことができるかどうかをみる問題。

正答率：約 85%

・最高気温が５℃で最低気温－４℃の日の最高気温は、最低気温より何℃高くなったかを求めることができます。

≪平均正答率が低かった問題≫

◆ 数学的に表現したことを事象に即して解釈し、問題解決の方法を数学的に説明することができるかどうかをみる問題。

正答率：約 30%

・「動画の時間（ｘ秒）と動画のデータ量(ｙMB)のグラフ」において、動画のデータ量が 1000MB になるときの動画撮影時間がおよそ何秒になるかを求める方法を説明することに課題がみられます。

≪今後の学習の手立て～今後の授業では～≫

◇ 結果を出すことにとどまらず問題解決の方法に焦点を当て、数学的な表現を用いて説明できるように指導していきます。

◇ 問題解決の見通しを立てる場面で、自分の考えた解決方法を説明させる活動を設定します。

◇ 問題解決を振り返る場面で、どのような方法で解決したのかをまとめたり、自分の考えを小グループなどで発表し合ったりする活動を設定します。

【中学校　英語】



≪平均正答率が高かった問題≫

◇　日常的な話題について、目的に応じて、必要な情報を聞き取ることができるかどうかをみる問題。

正答率：約 80%

・ショッピングセンターのアナウンスを聞き、カバンを買うために行くべき階を選択することができます。

≪平均正答率が低かった問題≫

◆　社会的な話題について、短い文章を読み、要点を捉え、考えとその理由を書くことができるかどうかをみる問題。

正答率：約 25%

・インターネットの使用に関して読んだことについて、考えとその理由を書くことに課題がみられます。

≪今後の学習の手立て～今後の授業では～≫

◇ 主張とその理由を明らかにしたり、順序付けを行ったりすることにより、読み手にとって分かりやすい文章を書けるように指導します。

◇ 文章を読んで要点を確認した後、自分の考えをキーワードとしてメモや思考ツールにまとめさせ、自分の考えを整理する活動を設定します。

◇ コミュニケーションを行う目的や場面、状況などを意識して、読み手に伝わるように自分の考えや感想などを書かせるように指導します。

◇ “I agree / don’t agree with… because…”などの表現を用いて、書き手の意見に対する賛否とその理由などを話した後に、話した内容を簡単な文で１～２文程度書かせる活動を繰り返させます。

◇ 自分の考えとその理由が伝わるかという視点から、語句の選択、語順などの文構造、動詞の活用、語の綴りなどについてコメントし合う活動を設定します。

今回の全国学力・学習状況調査の結果を真摯に受け止め、菰野町では、学校と教育委員会が一体となり、子どもたち一人ひとりの学びを大切にした授業改善と学力向上に向けた取組を、より一層推進してまいります。子どもたちが「わかった！」「できた！」という喜びや達成感を実感し、自信をもって学び続けられるよう、教職員一人ひとりが授業づくりに真摯に向き合い、確かな学力の育成に全力で取り組んでまいります。